

2016-2017

第2回複合地区 IT 委員長【ウェブ】連絡会議報告書

◎ 日 時： 2017年2月14日（火）14:00-16:00

◎ 場 所： 各PCから接続

◎ 出席者：

330 複合地区 IT 委員長	神田 信男
331 複合地区 IT 委員長	奥山 壽雄（副世話人）
332 複合地区 IT 委員長	稲岡 敬弘（副世話人）
333 複合地区 IT 委員長	吉原 稔貴（世話人）
334 複合地区 IT 委員長	木村 正明
335 複合地区 IT 委員長	森井 士朗
336 複合地区 IT 委員長	尾崎 博
337 複合地区 IT 委員長	小山 久仁

国際理事 佐藤 宜之

ガバナー協議会議長連絡会議世話人 安田 克樹

IT 専門部会 IT 専門委員(正)

337 複合地区ライオン誌日本語版委員	小柴 登司
ライオン誌 IT アドバイザー	荘 英隆
日本ライオンズ ライオン誌	鈴木 秀晃

◎ 文責者： 複合地区 IT 委員長連絡会議 世話人 吉原 稔貴

◎WEB 会議に先立ち、参加者全員の自己紹介があり、続いて複合地区議長連絡会議世話人・日本ライオンズ理事長（以下「理事長」という）、国際理事から開会のご挨拶があった。

◎複合地区 IT 委員長連絡会議世話人（以下「委員長世話人」という）から「この会議は、第一回会議から現在までの数カ月の間の出来事・情報を、すべての複合地区で共有するために開催する」との挨拶の後、委員長世話人の司会により議事を始めた。

【議題】

1. 「eMMR から MyLCI への移行」に関する国際協会への日本からの要望事項について

「委員長世話人」より、「第一回複合地区 IT 委員長連絡会議、第一回複合地区 IT 専門部会」で出された意見・要望・疑問を踏まえ、佐藤国際理事のリーダーシップの下、国際協会への要望書を取りまとめ、複合地区議長連絡会議の了解を得て、佐藤国際理事より国際協会

に提出した」と経緯を説明。

「資料1 A」の「EMMR から MyLCI への移行の為の要望」を、「委員長世話人」が読み上げた。

2. 現在までの「国際協会からの回答」について

「委員長世話人」が「資料2 A」の「太平洋アジア課のマーズ・佐子課長」から「佐藤国際理事」に宛てた「回答」を読み上げた。

3. 「MyLCI 移行担当チーム（仮称）」について

議題1、議題2について、佐藤国際理事から経緯と内容について補足説明があり、各複合地区の委員長・専門委員、参加者一人一人から「意見・質問・感想」を述べ、質問について、佐藤国際理事、小柴ライオン誌日本語版委員、荘ライオン誌 IT アドバイザーから回答した。

参加者の感想・意見は、概ね「わずか数カ月で、状況が進んだ。取りまとめてくださった佐藤国際理事に感謝したい」「MyLCI がどうなるのか、まだこれからの交渉にかかっているが、日本語入力・日本語出力など国際協会の回答が、予想を超えてとても前向きで協力的でよかった」とのこと。

【質疑応答】（一部抜粋）

質問「EMMR と MyLCI と並立していくのか？」

国際理事「EMMR も MyLCI も、国際協会・複合地区・準地区にとって必要な情報ではあるが、単一クラブの側の目線では面倒なだけの作業なので、最終的には、一番シンプルなカタチにするのが望ましいと思うが、移行までの期間は、並立せざるを得ないので、単一クラブに MyLCI への接続・アクティビティ報告を広めなければならない」

質問「この要望を実現するのに、どれほどの費用がかかるのか」

国際理事「要望にある MyLCI の改修費用は、国際協会側の負担なので、クラブや地区に負担がかかることはないが、地区によって EMMR の利用状況が異なり、MyLCI の改修でカバーしない付帯機能を、地区が独自に EMMR として存続する場合、その費用は地区の負担となる」

質問「要望を実現するためのタイムテーブルはいかがか？」

国際理事「『回答』にあるように、移行・要望事項の実現に向けて、国際協会側はプロジェクトチームを編成するので、協議・交渉をする窓口として、日本ライオンズ側に移行担当チームを編成してほしいとあるので、議題3・資料2 Cにある6名を選出した」

4. 「MyLCI 移行へのアプローチと今後のステップ」について

5. 「今後の eMMR と MyLCI のあり方」についてのイメージ

小柴ライオン誌日本語版委員から「私的には、MyLCI とサバンナの二本立てで、最低限

(主として日本語での入力と日本語でのダウンロード)の機能を **MyLCI** に追加していけば、残部はサバンナを使用し準地区ごとのレギュレーションに沿った形で運用していくべきだと思う」

「**LCI** の言う『**EMMR** は移行の後にも稼働を継続させることは可能です』が気がかりだ。**EMMR** が継続することにより、少なくとも会員動静(入退会)に関して、**MyLCI** とサバンナがリアルタイムでリンクできれば、会員数の差異という問題は解消され、各クラブの **MyLCI** での報告が必須となるので、一挙両得かと思う」との意見が出され、それを基に、参加者全員の意見・質問を求めた。

【質疑応答の一部】(一部抜粋)

質問「**EMMR** は移行後も存続していくのか!？」

委員長世話人「『回答』の日本語訳はそうになっているが、英語原文をよく読むと『移行後、ある一定の期間、**EMMR** を稼働し続けることは可能です』と読み取れるので、これまで通りに稼働できるというのではなくて、経過措置として、しばらくの間は稼働させてもいいということのようだ」

質問「なぜ、国際協会の方針である **MyLCI** への一本化を今すぐにやらないのか？」

複数の回答あり「現在の英語入力・英語出力の **MyLCI** の機能だけでは、ライオン誌の送付先情報の管理・更新、会費請求等を行うことは困難なので、**MyLCI** への移行を可能にするために必要なことをまとめて要望し、よりよいカタチを求めて、これから交渉していく」

「今回の要望事項は、基本的に国内 35 準地区ごとに異なる **EMMR**・サバンナの運用状況の中で、35 準地区に共通する必要最低限のことをまとめた」

意見・要望「準地区内の単一クラブの **MyLCI** 接続・アクティビティ報告状況は、残念ながら低いレベル。これを上げていかなければならない」「日本国内各準地区ごとの、**MyLCI** 接続状況をまとめた資料があればいただきたい」

最後に、国際理事、理事長から総括をいただき、15 時 59 分に閉会した。